

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本競技会は、2023 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本競技会申し合わせ事項により実施する。

- 2 練習は、トラック種目・跳躍種目は本競技場・サブトラックを使用する。砲丸投は投てき練習場、棒高跳は本競技場内で下記に定める時間に、監督の付き添いの下に行うことができる。

	本競技場の開放	砲丸練習場	U-u p エリア	棒高跳ピット
10/14(土)	7:00～ 9:00	7:00～競技終了迄	7:00～競技終了迄	7:00～競技開始迄
10/15(日)	7:00～ 9:00	7:00～競技終了迄	7:00～競技終了迄	

3 招集について

- (1) 招集所は、100mスタート付近(スタート地点の後方、外側スタンド下)に設ける。

- (2) 招集完了時刻はその競技の開始時刻を基準として、次の通りとする。**(※原則)**

		招集開始時間	招集完了時間
トラック競技	予選・決勝	3 0 分前	1 5 分前
フィールド競技	走高跳・走幅跳・砲丸投	5 0 分前	3 0 分前
	棒高跳	5 0 分前	3 0 分前
四種競技	トラック競技	3 0 分前	1 5 分前
	フィールド競技	5 0 分前	3 0 分前

- (3) 競技者は、招集開始時刻までに招集所に集合すること。招集完了時刻に遅れた競技者は棄権したものとみなされ出場できない。

- (4) 招集の手順

招集開始時刻とともに、本人または代理人が第一招集リストに○印をつけ、トラック競技のみ腰ナンバー標識を受け取る。第一招集受付後は待機所で待ち、第二招集(最終点呼)を受ける。

2 種目に同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を1 種目の招集時に申し出ること。

※ (多種目同時出場届)

- (5) リレー競走の招集について

リレー競走に出場のチームはあらかじめ招集所からオーダー用紙を受け取り、各ラウンド**第1組の招集完了時刻の1 時間前までに招集所に1 部提出する。**(競技規則TR 2 4. 1 1)

- (6) 四種競技出場者の招集について

四種競技出場者も、他種目同様に招集所に集合し点呼を受ける。また、3 種目終了した時点で最終種目の番組編成を行う。

- (7) 点呼は招集所と現地の2ヶ所で行うので、呼ばれたら大きな声で返事をする事。

- (8) 欠場するときは、あらかじめ競技者係に招集開始時刻までに申し出ること。(欠場届)

4 競技について

- (1) 競技の進行を速やかにするために、次のことを厳守する事。

【トラック競技】

- 次のレースに出場する競技者は、競技時の服装になり、自分のレーンでスターティングブロックを準備する事。
- 混成競技を除き、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。(競技規則TR 1 6. 8)

【フィールド競技】

- 次の試技順の者は、競技時の服装で試技できる準備をすること。
- 理由なく進行を遅らせた場合には、その試技を無効試技とする。
- 競技者に許される試技時間は以下の通りである。(競技規則TR 2 5. 1 7)

※ すべての種目 … 1 分

※ 人数が少なくなったとき

残っている競技者数	単独種目			混成競技	
	走高跳	棒高跳	その他	走高跳	砲丸投
2～3 人	1 分 3 0 秒	2 分	1 分	1 分 3 0 秒	1 分
1 人	3 分	5 分		2 分	
連続試技	2 分	3 分	2 分	2 分	2 分

- (2) 招集所からスタート地点及び競技場へ移動する場合は、必ず係員の誘導に従って規律ある行動をとること。競技者以外者は競技場内に立ち入る事が出来ない。(監督、父母、付き添いなど) ゴール後の本部席前の通り抜けは厳禁である。
- (3) 800m競走は、第2コーナーの出口までセパレートレーンを使用する。オープンになる位置は、第2コーナーのブレイクラインからである。
- (4) 本競技場は全天候舗装なので、スパイクピンの長さは9mm以内、走高跳は12mm以内とする。(競技規則TR 5. 2)

(5) リレー競走について

- ① リレーチームにおけるユニホームは同一系でなければならない。やむを得ない理由で、ユニホームが揃わない場合には、事前に総務に申し出ること。
- ② マーカーの使用は1ヶ所とする。(大きさは最大 50mm×400mm の粘着テープ) (競技規則TR 2 4. 4)
マーカーはチームで用意し、使用したマーカーは各チームの出走者が責任を持って撤去すること。

(6) 助力について(競技規則TR 6. 3. 2)

ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話、もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することを禁ずる。

(7) 同記録の扱い方

トラック競技において同記録が出た場合、1000分の1秒で判定する。1000分の1秒でも同記録の場合は、抽選とする。(競技規則TR 2 1. 2)

5 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブス(番号布)は原型(規格どおり)のまま折り曲げたりせず胸と背にはっきり見えるようにつけること。ただし、跳躍競技は背または胸だけでもよい。腰ナンバー標識はゴールした後その場で係員に返却すること。
- (2) 3000mは、特別ナンバーカードを使用する。競技開始1時間前までに招集所に取りに行くこと。

6 競技用具について

競技に使用する用器具は、全て主催者が用意したものを使用し、個人所有のものは使用できない。ただし、棒高跳用のポールは検査を受け、合格したものに限り使用が認められる。

7 走高跳、棒高跳のバーの上げ方について

	走高跳			棒高跳	
		練習	バーの上げ方	練習	バーの上げ方
男子	決勝	1m35	40 - 45 - 50 - 55 - 60 - 63 . . .	2m00	10 - 20 - 30 - 40 ...
	四種	1m25	30 - 35 - 40 - 45 - 50 - 55 - 58 . . .		
女子	決勝	1m20	25 - 30 - 35 - 38 . . .		
	四種	1m10	15 - 20 - 25 - 30 - 35 - 38 . . .		

- (1) 共通種目の決勝においては、最後の1人となり、優勝者が決まるまで上記のバーの上げ方とする。四種競技においては、最後の一人になっても3cmずつあげる。
- (2) 第1位が同記録の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。

8 表彰について

- (1) 決勝3位までに入賞した選手を表彰するので、トラック競技はフィニッシュ地点からそのまま、フィールド競技は競技終了後直ちに、係員の誘導で表彰者控え場所に直行すること。(表彰の服装は、ユニフォーム以外とする)
- (2) 男女別学校対抗とし、得点の合計により総合6位までの学校を閉会式で表彰する。得点は1位8点、以下2位7点～8位1点とし、同点の場合は、1位決定の場合に限り上位入賞者の数により決定する。その他については同順位とする。なお、総合優勝の学校には男女それぞれに優勝旗を授与する。

9 その他

- (1) 競技運営上必要な情報、指示、伝達はアナウンスするので聞き逃しのないよう注意すること。また、各種目の成績及び総合順位は正面入り口付近に掲示する。
- (2) 競技場及びその周辺は時折天気予報とは異なる突風が吹くことがあります。これまでも大会において設営していたテントが突風によって飛ばされた事例が相次いでいます。各校選手テントの設営については普段よりも重りを増やす等、飛ばされないような準備をお願いします。なお、事故防止のため、設営したテントは競技終了の度に撤収願います。(骨組みは可)
- (3) 砲丸投げの練習について
 - (1) **本競技場（解放時間のみ）練習を認めます。**
 - (2) 練習をする際は、顧問及び選手と一緒に砲丸投げ練習場の担当役員に声をかけてください。
 - (3) 選手のための練習は認めません。顧問の先生が必ず常同して練習させてください。
- (4) 本大会1位の選手は、「令和6年度全日本中学校通信陸上競技岩手県大会」のその種目に推薦する。

※(リレーは除く)

※1年種目で1位になった選手は、次年度の学年別・共通・2.3年種目に推薦する。

※会場周辺(競技場外)の場所取りについては、前日9時からとする。